



発達支援だより



2026年3月 向陽台保育園

### 「今は大変だけれども…」

いよいよ年度末…。早いです。卒園式の練習で「♪さよなら ぼくたちの ぼいくえん〜♪」とメロディが流れると、今年度のみんなとの色々なやりとりが、走馬灯のように浮かびます。今年度も一年間、本当に、みんな可愛すぎるくらい可愛いお子さん達でした。怒ったり、泣いたり、はしゃぎすぎたり…忙しいお子さん達ですが、毎日それぞれに全力です。



それでも、ご家庭では「朝、全然起きない」「夜寝てくれない」「偏食がひどい」「言葉が汚い」「お友達と喧嘩ばかり」など、様々なお悩みを抱えていると思います。



人間の脳は、恒常性(いつも同じ状態…健康な状態)を保つために、体内のエラーを検知して、それを修正していくことで、命をつないでいます。人間にとって「エラーを検知する」というのがもともと備わっている機能です。身体は「今日も心臓が元気に動いています！すごいでしょ！」とお知らせはしてくれないですね(笑)。

それと同じように、私たち人間は、何事もなく振る舞えて当たり前、ちょっとエラーがあると「何やっているの!」「ちゃんとしなさい!」となりがちです。特に、家庭内では、人と人の距離が近いので、パートナーに対して、お子さんに対して、期待したり、望んでしまう分、それに合致しない「エラー」が気になってしまうことが多いですね。

一方で、ご自身の小さい頃の記憶をたどって思い出してみてください。ご自身は、どんなお子さんだったでしょうか…。

筆者は、三人姉妹の末っ子です。遊びはお姉ちゃんのコピー。クリエイティブなことは大の苦手。小さい頃は運動も苦手で、園庭の隅で地面を棒で削ってひたすらサラサラな砂を作っていました(その画像は頭の中に、半世紀後の今でも残っています(笑)) 鬼ごっこはみそっかす。かけっこはビリ。歩くとドシドシぶざまに歩くので、母親に「静かに歩きなさい」「女の子でしょ」と怒られていました。嘘もつきました。その場しのぎというか…姉の机の引き出しの百円を取って、母親に交番に連れていかれたこともあります。嫌な子だな〜💧。母親にはたくさん怒られました。エラーだらけです。



それでも、一応つつがなく、現在、家族との日々、社会人生活を送っています。

年月に伴うお子さんたちの成長は、本当に素晴らしい、眩しいです。保育園時代に、自身の気持ちをコントロールすることが難しくて、泣き叫んだり、物を投げたり、他者に暴力をふるったりしていたお子さんでも…お祭りなどの機会に訪れてくれると…。嘘みたいに落ち着いて、遠くから「先生!」なんて呼んでくれると、本当に感慨深いものがあります。

### お子さんは、必ず成長します!



とはいえ、子育ては、自分の子どもしか近くでみることがないので、なかなか先の姿を見通せません。日々の生活への対応でいっぱいになってしまおうと思います。筆者も、子どもが小さい頃は、生活を回すことにいっぱいいっぱい、牛乳をこぼしたら仁王立ちで怒り、食事の支度を手伝ってくれても、ガチャガチャにされると「もういいや」と遠ざけていました。残っている写真には、子どもたちのいい顔もたくさんあるのですが、自身の記憶の中で、子どもたちの表情が全く無いのです。それがすごく、悲しくて悔しい…。

園に通っているお子さん達の表情は、本当に愛くるしくて、泣いている顔も怒っている顔も、「できた!」の瞬間も!全部保護者の皆様にお見せしたい。(こちら夢中になっている時は写真もうまく撮れずに、本当に申し訳ありません💧)

仕事をしながら、送迎して、食事の支度をして、片づけて、お風呂に入れて、寝かしつけて…お子さんの生活に対応するのは、気力も体力もしんどいと思います。けれども、是非、お子さまの「成長する力」を信じて、少しのエラーはまあまあ…と受け止めて、可愛い表情、仕草をたくさんご自身の記憶として残していただけたら、と思うのです。

そして…発達が遅くだったり、うまくいかない事が多いと、どうしても思考がマイナス向きになってしまったりしますが

### お子さんたちは、みんな素敵なお子さんたちです!

そして同じように、保護者の皆さんも親を頑張ってるだけで100点です!ダメな保護者なんていません!皆一生懸命です。年度最後に、それをお伝えしたかった…。

進級の皆様、次年度も引き続きよろしくお願いたします。転園、卒園の皆様、これからのご家族のご健勝をお祈りしています。



ご一読、ありがとうございました。最後まで読んでくださったことに感謝します。

発達支援専門家・早期発達支援コーディネーター 藤原 りか